

J F A 第 12 回全日本U-18 フットサル選手権大会 関東大会 実施要項

1. 名 称 J F A 第 12 回全日本U-18 フットサル選手権大会 関東大会
2. 主 催 一般社団法人 関東サッカー協会
3. 主 管 一般社団法人 関東サッカー協会フットサル委員会
公益財団法人 茨城県サッカー協会フットサル委員会
4. 協 賛 未定
5. 協 力 未定
6. 日 程 <開催日>2025 年 6 月 8 日(日)・22 日(日)・29 日(日)
<会 場>水海道総合体育館(6 月 8 日・22 日)
取手グリーンスポーツセンター(6 月 29 日)

7. 参加資格

(1)フットサルチームの場合

①公益財団法人日本サッカー協会(以下、「日本協会」とする)に「フットサル2種」、または「フットサル3種」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。

日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「フットサル2種」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は「フットサル3種」年代のみとし、「フットサル2種」およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。

②男女の性別は問わない。

③外国籍選手は1チームあたり3名までとする。準加盟チームについては、その限りとししない。

(2)サッカーチームの場合

①日本協会に「2種」、「3種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。

日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「2種」、「女子」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は「3種」年代のみとし、「2種」年代およびそれ以上の選手は適用対象外とする。

②「女子」チームは、チームに所属する2007年4月2日以降、2013年4月1日以前に生まれた選手であること。

③男女の性別は問わない。

④外国籍選手は1チームあたり3名までとする。準加盟チームについては、その限りとししない。

⑤高体連加盟チーム、および学校教育法第72条の特別支援学校、第115条の高専、第124条の専修学校、第134条の各種学校のチームに関しては高体連主催大会の規程に準じる。

(3)都県大会を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。

(4)選手は、本大会において複数のチームで参加できない。

8. 参加チームとその数

参加チームは、次の各号により選出された12チームとする。

(1)1都7県サッカー協会から各1チーム

(2)開催地サッカー協会から1チーム(茨城県)

(3)前回大会優勝の都県サッカー協会から1チーム(東京都)

(4)2024年度大会予選参加チーム数上位2都県から各1チーム(各都県大会の参加チーム数が多い順に配分) (東京都・千葉県)

※不測の事態により、都県代表チームが出場又は参加できないとなった場合は次点より1チーム追加する。(神奈川県)

9. 大会形式

(1)予選ラウンド：12チームを3チームずつ4グループに分けてリーグ戦を行い、各グループ1位の4チームが決勝ラウンドに進出する。

順位は、グループ内の勝点合計の多いチームを上位とする。

勝点は、勝ち3、引き分け1、負け0とする。

ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

①当該チーム内の対戦成績

②当該チーム内の得失点差

③当該チーム内の総得点数

④グループ内の総得失点差

⑤グループ内の総得点数

⑥下記に基づくポイント合計がより少ないチーム

(ア)警告1回 1ポイント

(イ)警告2回による退場1回 3ポイント

(ウ)退場1回 3ポイント

(エ)警告1回に続く退場1回 4ポイント

⑦抽選

(2)決勝ラウンド：4チームによるノックアウト方式で行う。なお、準決勝敗者同士による3位決定戦を行う。

10. 競技規則

大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

11. 競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

(1)ピッチ：原則として、40m×20mとする。

(2)ボール：試合球：モルテン製ヴァンタッジオフットサル4000(F9N4000) フットサル4号球

(3) 競技者の数

競技者の数：5名

交代要員の数：9名以内

ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内。準加盟チームについてはその限りとししない。

(4) チーム役員の数：3名以内

(5) 競技者の用具

① ユニフォーム：

(ア) 日本協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

(イ) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別がしやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。

(ウ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものであること。

(エ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。

(オ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

(カ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。

(キ) ユニフォームへの広告表示については、日本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。

(ク) 正・副の2色については明確に異なる色とする。

(ケ) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

(コ) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

(サ) 貼り番号は、原則認めない。ただし、選手登録番号ユニフォームが無い場合に限り、救済措置として認める場合がある。その場合は、事前に大会登録されたユニフォームの主たる部分色と同色布地を使用すること。また、掲示される番号についても登録されたユニフォームの番号色と同色、同デザインとすること。なお、登録されたユニフォームの主たる部分色が複数色ある場合(縞柄等)は、大会運営委員会の判断および決定に従うものとする。※貼り番号がある場合は事前に申請すること。

(シ) その他のユニフォームに関する事項については、日本協会のユニフォーム規程に則る。

②靴：キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのものとする。なお、靴底の接地面が着色されたものは、ノンマーキング表示がある場合に限り着用可能とする。

③ビブス：交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

④キャプテンアームバンド：キャプテンは、キャプテンアームバンドを着用すること。着用するアームバンドは、日本協会ユニフォーム規程に基づいたものとする。

(6) 試合時間

①予選ラウンド：30分間(各15分間からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで)とする。

②決勝ラウンド：40分間(各20分間からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで)とする。

(7) 試合の勝者を決定する方法(試合時間内で勝者が決しない場合)

①予選ラウンド：引き分け

②決勝ラウンド：PK戦により勝敗を決定する。PK戦に入る前のインターバルは1分間とする。

(8) 一方のチームの責に帰すべき事由により、試合開催不能または中止となった場合(不戦敗等) 帰責事由のあるチームは0対5で敗戦したものとみなす。

(9) 試合登録において、チーム役員及び選手を兼任する場合は、ベンチ入りの人数においてチーム役員・選手の中からチーム役員として登録でき、ベンチに入ることが認められる。この際の服装はユニフォームではなく、選手と区別できる服装を着用しなければならない。

競技開始前(審判員によるエキップメントチェック)に不在の者は、ベンチ入りを認めない。役員・コーチ等も同様とする。

(10) 予選ラウンドについては、マッチコーディネーションミーティング(以下、MCMとする)は行いません。試合で着用するユニフォーム、ビブス及び第1ピリオドにどちらのゴールを攻めるのかは事前に主催者が決定し通知します。なお、キックオフの選択は試合開始前のコイントスにより決定する。 ※ユニフォームについては現物を見て当日変更する場合がありますので、必ず正副のユニフォームを持参してください。

(11) 決勝ラウンドについては試合開始60分前に両チーム代表者、担当審判員とのMCMを行い、ユニフォーム、ビブス及び第1ピリオドにどちらのゴールを攻めるのかを決定する。なお、キックオフの選択は試合開始前のコイントスにより決定する。

12. 懲罰

(1) 本大会は、日本協会「懲罰規定」に則り、大会規律委員会を設ける。

(2) 本大会の規律委員会は、一般社団法人関東サッカー協会(以下、「関東協会」とする)フットサル委員会の規律委員会とする。委員長は、関東協会フットサル委員長とする。

(3) 本大会の予選となる都県大会は、懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

(4) 本大会において退場を命じられた選手・チーム役員は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。

- (5)本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手・チーム役員は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (6)前項により出場停止処分を受けたとき、予選ラウンド終了時点で警告の累積が1回るとき、または、本大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。
- (7)本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (8)その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

13. 参加申込

- (1)1チームあたり24名(選手20名、役員4名)を上限とし、選手は予選大会に登録していること。ただし、3名を上限に予選大会に登録していない選手を記載できる。その場合、第7条に定める参加資格を満たしていなければならない。
- (2)申込みは日本協会WEB登録システム「KICK OFF」により行う。
- (3)チーム名は短縮語(FCやSCなど)を除き、日本語で表記しなければならない。
- (4)WEB入力期間:2025年5月7日(水)~5月20日(火)正午
- (5)下記書類についてはメールで提出すること
- ①「プライバシーポリシー同意書」※署名押印の上、PDFで提出可
 - ②都県大会で登録した「フットサル大会登録票写し」※PDFで提出可
 - ③当該大会登録票兼参加申込書 ※エクセルデータのまま提出すること
※選手の変更がある場合は「選手変更届」を提出すること。
 - ④代表者会議出席者確認書
 - ⑤ユニフォーム・ビブス写真提出用紙
 - ⑥ユニフォーム広告掲示(回答)の写し(ユニフォーム広告等がある場合)
 - ⑦参加費納入報告書
- (6)前項の申込締切日以降の参加申込内容の変更は認めない。

14. 参加費

1チームあたり45,000円とする。

【振込口座】

【振込期日】

2025年5月20日(火) ※必ず、参加チーム名で振り込むこと。

15. 選手証

各チームの登録選手は、原則として日本協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※選手証とは、日本協会WEB登録システム「KICK OFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

16. 組み合わせ

関東協会フットサル委員会において抽選を行い決定する。

17. 表彰

優勝、準優勝、第3位、第4位のチームを表彰する。

18. 全国大会出場権

(1)全国大会への出場枠は「4チーム」とする。

(2)本大会の第1位・第2位・第3位・第4位のチームは、全国大会に出場する義務と権利を有する。

【開催日】2025年7月31日(木)～8月3日(日)

【開催地】静岡県／浜松アリーナ

19. 代表者会議

日程：2025年6月2日(月) 20：00～

実施方法：オンラインで行う。(Zoomを使用)

※事前に、Zoomが使用できるように各自設定をお願いします。

※参加チームの代表者1名は、代表者会議に必ず出席しなければならない。代表者会議に欠席した場合は失格とする。但し、その可否については主催者が決定する。

20. 傷害補償

チームの責任においてスポーツ安全保険またはそれに準ずる保険に加入すること。

21. 負傷対応

競技中の疾病、傷病等については、救急車の手配は行うが、その後の責任は負わない。

22. その他

(1)大会運営・競技進行を円滑に行うため、参加チームは別紙「大会運営について」を参照し、各チーム周知・徹底すること。

(2)大会要項違反、その他不都合な行為があった場合は、本大会規律委員会に諮り、その選手またはチームの処分を関東協会フットサル規律・フェアプレー委員会で決定する。

(3)各試合の70分前に大会本部にメンバー票と選手証を提出すること。

(4)チームは競技者のユニフォームのシャツと異なる色のビブスを2色用意し大会当日は携行すること。

(5)怪我などの事項が発生した場合、主催者は一切の責任を負わない。

(6)本大会の試合に関する動画・写真の権利は全て関東協会フットサル委員会に帰属する。また、肖像権等の使用は、関東協会フットサル委員会の承認を必要とする。

(7)本大会参加にかかるチーム経費は、各チームの責任において用意すること。

(8)本実施要項に記載のない事項については、本委員会で決定する。

※ ホームページに掲載にあたりまして、項目を一部省略しております。